

目次

まえがき

第一章 地球温暖化の進行と

欧州の新たな環境経済戦略

1 世界の研究者が警告する未来

2 スターン・レビューの衝撃

3 変わり始めた世界の気候変動政策

1

1

14

20

第二章 日本企業の温暖化防止対策の現状と

環境政策の課題

1 日本の温暖化対策と

危機的状況にある京都議定書目標の達成

55

55

2	進まない日本企業の温室効果ガス削減対策と削減行動の動機	67
3	日本企業の温室効果ガス削減費用とこれからの企業経営	94
4	京都議定書目標の達成とポスト二〇一二年へ向けた政策の基本的方向	115
〈参考1〉	国における排出量取引制度導入の試み	128
〈参考2〉	二酸化炭素などの削減のための環境賦課金導入の試み	134
〈参考3〉	地方公共団体による排出量取引制度導入の試み	137
第三章 低炭素化時代の社会と経済		
1	経済発展と環境保全が統合された社会の条件	141
2	新たな社会経済へ移行するための三つのポイント	162
3	低炭素化時代の環境経済戦略	188
		141

	〈補論1〉	削減行動の動機	
		二〇〇六年度調査の実証分析に用いたモデル	199
	〈補論2〉	環境報告書から推計した日本企業の削減費用	200
	参考文献		205
	あとがき		213
索引			